

## 【基本方向9】学んだ成果を生かす生涯学習の推進

施策項目	3 1 生涯学習活動の促進 3 2 生涯学習推進体制の充実	第2期 教育振興 基本計画 基本施策 との対応	1 1 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進 1 2 学習の質の保証と学習成果の評価・活用の推進 1 8 学習や社会生活に困難を有する者への学習機会の提供など教育支援 2 0 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備推進 3 0 社会教育推進体制の強化
	まとめ		<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道らしい生涯学習社会の実現のため、大学や民間、市町村などの開設する学習講座と連携した道独自の生涯学習制度による事業の実施</li> <li>道民の生涯にわたる学習活動の総合的な推進を図るため、指導者養成研修等を実施</li> </ul>

### 施策項目 3 1 生涯学習活動の促進

—●—目標値（太字）  
■実績値  
%…進捗率

指標の状況	①道民カレッジの連携講座数（講座）	H29目標 5,500講座	②道民カレッジの主催講座・連携講座の受講者数（人）	H29目標 132千人	③自ら学習に取り組もうとする気運の高まりを感じている住民（%）	H29目標 50%
		<p>〈講座〉 105.1%</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>		<p>〈受講者〉 101.1%</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>		<p>〈道民〉 64.0%</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>
	<p>④道民1人が1年間に公立図書館から借りた図書の本数（冊）</p> <p>〈公立図書館〉 64.3%</p> <p>H25 H26 H27 H28 H29</p>	H29目標 7冊	<p>参考指標 (a)生涯学習を行っている住民の割合（%）</p> <p>〈住民〉</p> <p>H27 H28 H29</p>	参考指標	<p>参考指標 (b)北海道生涯学習情報システムのアクセス件数（千件）</p> <p>〈アクセス件数〉</p> <p>H27 H28 H29</p>	
施策の推進状況	【Plan】平成29年度の主な施策			【Do】主な実績		
	<p>■学習機会の充実</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>道民カレッジの運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>連携講座数、受講者数の拡充に向けた取組を実施（新規団体掘り起こし、登録団体に対する講座数増加の呼びかけ、未登録市町村教育委員会への登録依頼等） <ul style="list-style-type: none"> <li>連携講座数：5,780講座（目標指標①）</li> <li>受講者数：133,415人（目標指標②）</li> <li>地域活動実践講座：延べ46人（2圏域）</li> </ul> </li> <li>※「ほっかいどう学」大学インターネット講座：6講座配信</li> </ul> </li> <li>主催講座を新設（地域活動実践講座、地域活動インターネット講座）</li> <li>連携講座の学科及び専門コースを新設</li> <li>生涯学習に関する住民の意識調査による学習ニーズの把握（道内市町村住民 1,246名）</li> </ul>		
	<p>■学習情報提供と相談機能の充実</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>「北海道生涯学習情報提供システム」の運用（参考指標(b)）（アクセス数：353,446件）</li> <li>学習相談員の配置（相談件数：515件）</li> <li>広報紙「北のまなび」発行（4回）</li> </ul>		

施策の推進状況	<b>【Check】 施策の課題</b>		<b>【Action】 今後の方向</b>					
	<p>●道民の学習機会の充実 〔分析・背景〕</p> <p>道民カレッジ連携講座について、新たな登録団体の掘り起こしを行ったほか、登録のない市町村に登録を呼びかけた結果、連携講座数が目標値を達成し、全市町村で実施することができた</p> <p>〔課題〕</p> <p>目標値は達成したが、今後ともより多くの道民に学びの機会を提供するため、地域間格差を減らすとともに、登録数の拡大及び内容の充実を図ることが必要</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携講座数拡大のため、登録団体への講座数増加の働きかけを実施</li> <li>・連携講座の受講者数増加に向けたPRを実施</li> <li>・地域間格差を減らすための取組の実施</li> <li>・「道民カレッジ事業」の一層の周知</li> </ul>					
	<b>総合評価</b>	<b>定量評価</b>	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均
	概ね計画どおり	概ね計画どおり	2	0	0	2	0	2.5
概ね計画どおり	定性評価	(定性評価)						
	—							

施策項目3.2 生涯学習推進体制の充実

—●—目標値（太字）  
■…実績値 %…進捗率

指標の状況	<p>⑤生涯学習推進センター研修事業参加者の社教関係職員以外の割合（%）</p> <p>H29目標 50%</p> <p>〈研修参加者〉37.4%</p>	<p>⑥学習成果をまちづくりやボランティア活動などに生かしている地域住民（%）</p> <p>H29目標 50%</p> <p>〈ボランティア活動〉81.4%</p>
	<p>参考指標 (c)生涯学習推進センターの研修事業に参加した市町村（%）</p> <p>〈市町村〉</p>	<p>参考指標 (d)道民カレッジ称号取得者実人数（人）</p> <p>〈道民カレッジ〉</p>
	<p>【Plan】平成29年度の主な施策</p>	
	<p>【Do】主な実績</p>	
施策の推進状況	<p>■生涯学習推進体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で生涯学習を推進する職員の資質向上や指導者等の育成を図る各種セミナー等の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道社会教育セミナー：264名</li> <li>・課題対応型学習活性化セミナー：102名（4会場：札幌、室蘭、北見、旭川）</li> <li>・ICT活用セミナー：27名</li> <li>・生涯学習推進専門講座：39名</li> <li>・地域生涯学習活動実践交流セミナー：193名</li> </ul> </li> <li>・学びの成果を地域活動に結びつける地域活動実践講座の実施：46名</li> <li>・生涯学習の推進に関する調査研究の実施（179市町村調査）</li> </ul>	
	<p>■学習成果の適切な評価と活用のための環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道民カレッジで所定の単位を取得した場合、本人の申し出により称号、学長奨励賞を授与（称号取得者実人数：425名（参考指標(d)）</li> </ul>	
	<p>■広域性に対応した学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほっかいどう学」大学インターネット講座：6講座配信（6大学参加） ※講座視聴者数が前年度に比へ705名増加（㊟4,347名→㊟5,052名）</li> <li>・地域の実践者を紹介する動画や学びを活動に生かすための動画を作成・収集し、インターネットで公開             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動インターネット講座（2本） 特色ある地域活動の実践事例や地域活動への理解を深める内容を「地域活動インターネット講座」として制作</li> <li>・教材ライブラリー（31本） 道、道教委、関係機関が作成する動画コンテンツを収集し、インターネットを活用して広く学習機会を提供</li> </ul> </li> </ul>	
<p>【Check】施策の課題</p>		
<p>【Action】今後の方向</p>		
<p>●生涯学習の成果を地域に生かす仕組みづくり〔分析・背景〕</p> <p>生涯学習推進センターの研修事業に参加した市町村の割合は増加させることができたが、テーマ設定がやや社会教育行政よりになってしまい、社会教育関係職員以外の参加者数が減少となった</p> <p>〔課題〕</p> <p>地域において、地域の住民や団体自身が習得すべき地域づくりや関係者間の連携関係を強化するための知識・技術が不十分な状況</p>		
<p>各市町村における地域の関係者間のネットワークの強化及び社会教育主事等の資質向上を図る研修を実施</p>		

施策の推進状況	【Check】施策の課題			【Action】今後の方向				
	<p>●広域性に対応したICTを活用した学習環境の充実 〔分析・背景〕</p> <p>インターネットを活用した学びを促進するための各種動画コンテンツの視聴数は伸びてきている状況にあり、動画内容や本数を充実させることで視聴数のさらなる伸びが期待できる</p> <p>〔課題〕</p> <p>研修事業において、ICTを実践的な取組の中で活用していくことが課題</p>			<p>・全道を参集範囲とする研修事業等において、講演の様子を中継、配信するなどICTを活用した取組を試行</p> <p>・地域の実践者を紹介する動画や、学びを活動に生かすための動画を充実させ、インターネットで公開</p>				
	総合評価	定量評価	100%以上 (4点)	90~100% (3点)	80~90% (2点)	80%未満 (1点)	その他	平均
	やや遅れ	やや遅れ	0	0	1	1	0	1.5
		定性評価	(定性評価)					
	—							